



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月9日

上場会社名 朝日放送グループホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9405 URL https://corp.asahi.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西出 将之
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理局長 (氏名) 熊田 容子 (TEL) 06(6458)5321
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日~2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	72,000	7.7	3,595	227.4	3,694	183.6	3,835	210.8
2025年3月期第3四半期	66,872	1.4	1,098	—	1,302	—	1,234	—

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 4,531百万円(384.8%) 2025年3月期第3四半期 934百万円(268.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	91.84	—
2025年3月期第3四半期	29.57	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	131,577	82,434	61.4
2025年3月期	128,538	78,226	59.6

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 80,771百万円 2025年3月期 76,564百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	6.00	—	7.00	13.00
2026年3月期	—	8.00	—		
2026年3月期(予想)				10.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	92,700	0.8	3,600	38.9	3,700	47.6	4,100	63.8	98.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期3Q	41,833,000株	2025年3月期	41,833,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	43,345株	2025年3月期	99,391株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期3Q	41,766,649株	2025年3月期3Q	41,745,425株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2025年4月1日から2025年12月31日まで)の日本経済は、雇用や所得環境の改善に伴い、緩やかに回復を続けました。しかしながら、米国の通商政策の影響や物価上昇の継続による景気の下振れリスク等により、先行き不透明な状況が続いております。

このような経済状況の中、当社グループが主力事業を展開する放送・コンテンツ事業においてスポット収入の増加などにより増収となったほか、ライフスタイル事業においても増収となりました。以上の結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は720億円となり、前年同期に比べて51億2千7百万円(7.7%)の増収となりました。

費用面では売上原価が479億6千5百万円で、前年同期に比べて23億8百万円(5.1%)増加しました。販売費及び一般管理費は204億3千9百万円となり、3億2千2百万円(1.6%)増加しました。この結果、営業利益は35億9千5百万円となり、24億9千7百万円の増益、経常利益は36億9千4百万円で23億9千1百万円の増益となりました。また、特別利益に固定資産売却益等を計上したほか、特別損失に子会社の本社移転費用等を計上しました。

以上の結果、税金等調整前四半期純利益は60億3百万円で39億4千3百万円の増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は38億3千5百万円となり、26億1百万円の増益となりました。

セグメントごとの経営成績は、以下のとおりです。

[放送・コンテンツ事業]

放送・コンテンツ事業の売上高は615億4千9百万円となり、前年同期に比べ48億5千2百万円(8.6%)の増収となりました。テレビのスポット収入やローカルタイム収入が増加したほか、大阪・関西万博関連の収入が増加したこと等によるものです。増収に伴い営業費用も増加しましたが、営業利益は32億6千3百万円となり、前年同期に比べて20億4千5百万円の増益となりました。

[ライフスタイル事業]

ライフスタイル事業の売上高は子会社を新規連結したこと等により売上高は104億5千万円となり、前年同期に比べ2億7千5百万円(2.7%)の増収となりました。営業費用も増加しましたが、営業利益は3億6千4百万円となり、前年同期に比べて1億8百万円(42.3%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は前連結会計年度末に比べて30億3千8百万円増加し、1,315億7千7百万円となりました。現金及び預金や有形固定資産等が減少した一方で、有価証券等が増加したこと等によるものです。

(負債)

負債合計は前連結会計年度末に比べて11億6千8百万円減少し、491億4千3百万円となりました。長期借入金が増加したこと等によるものです。

(純資産)

純資産合計は前連結会計年度末に比べて42億7百万円増加し、824億3千4百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は想定の範囲内で推移しているため、通期連結業績につきましては、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益とも前回発表予想のとおりとしております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,879	19,876
受取手形、売掛金及び契約資産	16,034	17,921
有価証券	5,199	12,003
棚卸資産	1,819	1,797
未収還付法人税等	158	89
その他	4,437	2,746
貸倒引当金	△1	△18
流動資産合計	49,526	54,416
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	18,706	18,745
土地	16,771	14,510
その他（純額）	7,926	7,402
有形固定資産合計	43,403	40,658
無形固定資産		
ソフトウェア	1,264	1,012
ソフトウェア仮勘定	69	37
のれん	618	549
その他	138	131
無形固定資産合計	2,091	1,731
投資その他の資産		
投資有価証券	17,354	18,504
退職給付に係る資産	5,593	5,792
その他	10,549	10,460
貸倒引当金	△14	△12
投資その他の資産合計	33,483	34,744
固定資産合計	78,978	77,134
繰延資産		
社債発行費	33	26
繰延資産合計	33	26
資産合計	128,538	131,577

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	50	249
1年内返済予定の長期借入金	511	1,314
未払金	10,118	8,729
未払法人税等	292	1,605
引当金	560	1,765
その他	8,965	7,205
流動負債合計	20,498	20,870
固定負債		
長期借入金	4,658	2,628
社債	10,000	10,000
退職給付に係る負債	6,067	6,276
資産除去債務	1,438	1,501
その他	7,648	7,867
固定負債合計	29,813	28,273
負債合計	50,312	49,143
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,299	5,299
資本剰余金	6,026	6,032
利益剰余金	55,765	59,250
自己株式	△57	△24
株主資本合計	67,033	70,557
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,461	4,675
退職給付に係る調整累計額	6,069	5,539
その他の包括利益累計額合計	9,531	10,214
非支配株主持分	1,662	1,662
純資産合計	78,226	82,434
負債純資産合計	128,538	131,577

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2025年4月1日 至2025年12月31日)
売上高	66,872	72,000
売上原価	45,657	47,965
売上総利益	21,214	24,034
販売費及び一般管理費	20,116	20,439
営業利益	1,098	3,595
営業外収益		
受取利息	4	42
受取配当金	235	230
補助金収入	13	—
その他	160	117
営業外収益合計	414	390
営業外費用		
支払利息	60	83
持分法による投資損失	77	159
固定資産処分損	26	8
貸倒引当金繰入額	4	—
その他	40	38
営業外費用合計	210	291
経常利益	1,302	3,694
特別利益		
固定資産売却益	—	2,435
投資有価証券売却益	854	394
債務免除益	22	—
持分変動利益	—	46
特別利益合計	877	2,876
特別損失		
投資有価証券売却損	—	41
子会社移転関連費用	—	525
子会社清算損	120	—
特別損失合計	120	567
税金等調整前四半期純利益	2,059	6,003
法人税等	877	2,155
四半期純利益	1,181	3,847
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△52	11
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,234	3,835

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	1,181	3,847
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	165	1,246
為替換算調整勘定	83	—
退職給付に係る調整額	△392	△529
持分法適用会社に対する持分相当額	△102	△33
その他の包括利益合計	△247	683
四半期包括利益	934	4,531
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	988	4,519
非支配株主に係る四半期包括利益	△53	11

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1、2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	放送・コンテンツ事業	ライフスタイル事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	56,696	10,175	66,872	—	66,872
セグメント間の 内部売上高又は振替高	574	127	702	△702	—
計	57,271	10,303	67,574	△702	66,872
セグメント利益	1,217	256	1,474	△376	1,098

- (注) 1 セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額△702百万円は、セグメント間の取引消去金額であります。
- 2 セグメント利益の調整額△376百万円は、セグメント間取引消去3百万円及び報告セグメントに帰属しない新規の事業・市場開拓等にかかる費用△379百万円であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1、2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	放送・コンテンツ事業	ライフスタイル事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	61,549	10,450	72,000	—	72,000
セグメント間の 内部売上高又は振替高	358	133	491	△491	—
計	61,907	10,584	72,491	△491	72,000
セグメント利益	3,263	364	3,628	△33	3,595

- (注) 1 セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額△491百万円は、セグメント間の取引消去金額であります。
- 2 セグメント利益の調整額△33百万円は、セグメント間取引消去5百万円及び報告セグメントに帰属しない新規の事業・市場開拓等にかかる費用△38百万円であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ライフスタイル事業」において、291百万円の減損損失を計上しております。なお、四半期連結損益計算書においては、特別損失の「子会社移転関連費用」に含めて計上しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	2,642百万円	2,661百万円
のれんの償却額	87百万円	73百万円